



(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

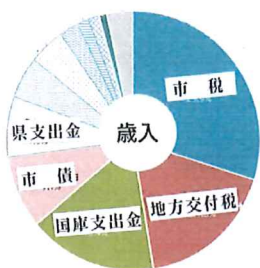
筑西市議会議員 小島 信一

3 月定例会より 報告 (令和 6 年第 1 回定例会)

令和 6 年 4 月 5 日発行

令和 6 年度予算成立

一般会計	・・・	482 億円	(前年比+7.6%)
特別会計	・・・	243 億 3 千万円	(+2.1%)
水道事業会計	・・・	39 億 7 千万円	(+3.5%)
下水道事業会計	・・・	31 億 1 千万円	(-7.3%)
農集排事業会計	・・・	12 億 9 千万円	(-2.7%)
合 計	・・・	809 億 1 千万円	(前年比+4.9%)



○一般財源の主なもの

・市 税	・・・	143 億 9 千万円	(前年比-3.9%)
・地方交付税	・・・	85 億円	(+10.4%)
・地方消費税	・・・	25 億円	(0.0%)
・寄付 (ふるさと納税)	・・・	7 億 1 千万円	(+38.8%)

・地方譲与税	・・・	6 億 6 千万円	(+4.0%)
・法人事業税交付金	・・・	2 億 6 千万円	(+6.0%)

○特定財源の主なもの

・国庫支出金	・・・	79 億 2 千万円	(+29.5%)
・県支出金	・・・	36 億 2 千万円	(+4.2%)
・市 債	・・・	43 億 9 千万円	(+4.0%)

◎ 令和 6 年度予算 (歳入) の特徴

- ・市税収入の減少は国策の定額減税によるもの。
この分は国庫支出金で賄われる。
- ・国庫支出金の大幅増は市税の定額減税補填分
- ・地方交付税の増額は子供子育て支援を増強するため。
- ・法人事業税交付金の増は
法人活動増を見込んだもの
- ・ふるさと納税 (寄付) の 5 年度末実績見込みは約 5 億 1 千万円。5 年度後半の伸びが大きかったので、38%増を見込んだ。



◎令和 6 年度 話題の事業

○地域交流センター (アルテリオ) 改修事業——削除

・・・総額 23 億円 (今年度予算 9 億 4 千万円)

アルテリオは築後 21 年が経ち経年劣化が進み大規模修繕が必要ということで総額 23 億円の工事が計画された。これまでのアルテリオの在り方 (メンテナンス、計画修繕、美術館の来客数) に疑問を持つ市民は多い。これらに対する反省、改善策を提示しないままでは到底賛成はできない。

○議会報告第 48 号裏面下段「アルテリオの大規模改修について」でも取り上げた。そこでの答

弁ではこれまでの管理ミスや当初の設計ミスには言及していない。さらに昨年度の計画では 15 億円という金額であった。なぜ増えたのか、大変疑問が残る。



・道の駅拡張計画・今年度・・・3 億 500 万円

配置計画図 (拡張整備基本計画)



今年度の予算は、基本・実施設計委託料と用地購入費です。拡張工事は来年度予算になります。これまでも、拡張計画の見直しを提案してまいりましたが今後も続けます。

議会報告 51 号において「道の駅拡張整備計画について」(裏面トップ) を掲載しています。参照ください。

現計画では、5 年前作成した「道の駅管理運営計画」の見直し計画が作成されていません。集客数、売上金額の目標値を設定していないのです。これでは完成後の検証ができず、無責任のそしりを免れません。

前ページの続き（6年度の主な事業）

- ・奨学金返還支援事業・・・1450万円
奨学金の返還をしながら働く若者を支援し本市への移住定住促進を図る。年額18万円。
- ・遠距離通勤支援事業・・・
・・・480万円
東京圏に通勤する若者へ支給。
上限は実費の1/2で月額1万円
- ・定額減税及び調整交付金事務・・・9億1700万円
定額減税は1人1万円であるが納税額が1万円に満たない市民に対し、1万円に届かない分を給付するもの。
- ・プレミアム付き商品券発行事業・・・3億100万円
2千円で7千円分の買い物ができる商品券を4万セット発行する。（5千円分がプレミアム）
市は 7千円×4万=2億8千万円の経済効果を見込む。投資額2億2千万円で2億8千万円では少なすぎないか。例えば5千で1万円分が買える商品券を4万セット発行する場合、この経済効果は
1万円×4万=4億円 となる。



◎その他の事業

- ・シティプロモーション推進事業・・・1670万円
5年度に作成したブランドメッセージ・ロゴの浸透及びシティプロモーション戦略に従った活動の実施（SNS, YouTube等）
- ・筑西市誕生20周年記念事業・・・1600万円
筑西市は令和7年3月で誕生20年となる。6年度、7年度にわたり記念事業を計画する。伊達市との交流事業880万円も含まれる。
- ・定住促進結婚祝金事業・・・3500万円
筑西市民が結婚し、夫婦とも筑西市に居住する場合、年齢に関係なく10万円を支給する。
○これまでに実施している結婚新生活支援事業とは別枠である。こちらは筑西市民が結婚後新生活を始めるための資金（リフォーム住宅賃貸費用、引っ越し費用）として最大60万円支給する。年齢制限あり。



一般質問



小島質問：アルテリオは、5年前から日本管財による包括管理が導入されている。包括管理は、計画修繕を基本として施設の長寿命化を目的としている。ところが、昨年、建て替えに匹敵するような



金額による大規模修繕の必要ありと判断された。これまでの管理、メンテナンスに長寿命化の工夫はあったのか。

部長答弁：これまでは壊れたら直す事後修繕であった。5年前に日本管財の包括管理というカテゴリーに入ったが、その前に15年分の積み残しがある。これまでの管理では長寿命化に対する部分は1歩下がっていた。

小島質問：アルテリオの設計にはメンテナンスに不都合が多いことを反省すべき。行政としては此度の大規模修繕の後、工夫することで今後の長寿命化を達成できるのか。

部長答弁：しっかり計画的修繕を行いながら延命し、70年ぐらい使っていきたい。

小島質問：ところでアルテリオにはパンフレットがありアルテリオの建設当時の目的、役割、特徴が書かれている。ここではアルテリオの建物自体、前庭も含めて芸術ということを宣言している。整備された稲荷町通りと融合するとある。アルテリオの建物自体、多くの人を集め、魅了することでしょう。アルテリオと稲荷町通りを観光資源化することを提案したい。



須藤市長：いままで盆踊りや各種イベントの開催を行ってきたが、今後は今のような考え（観光資源化）をしっかりとり入れたい。



アルテリオの維持管理（遮光、断熱）、修繕計画をしっかりとらせることも重要ですが、市民がもっと訪れたいくなるような運用も重要である。観光の場、憩いの場、賑わいの場に生まれ変わることです。